



「ネットいじめ、あなたなら？」

(高等学校)

ねらい

モデルカリキュラム表【i5-1】【a5-1】

- ・ルールやマナーを遵守し、情報社会において、責任のある態度ができるようにする。
- ・ネット上の迷惑行為に対して、どのように対処すればよいかを考え、主体的に行動できるようにする。



「春野家ケータイ物語」(第八話「立ち向かえ！ ひきょうな書き込み深まるキズナ」)

裏掲示板に中傷され元気のない啓太。啓太へのいじめがエスカレートしていく中で、友達も遠くから眺めるだけだ。ネットいじめを知った夏樹は家族に知らせ、父と母は学校に相談する。先生も教室で熱く語り、友達も立ち上がる。書き込みは削除され、友達から届いたメールには・・・。

NTTドコモ より

○留意点

- ・日常生活におけるコミュニケーション手段の延長として、ネットの利用があることを気付く。
- ・学校非公式サイト(学校裏サイト)のマイナス面だけを強調せず、有効な利用法もあることを知る。

(受) = 情報の受け手としての知識を得る・配慮を知る

(送) = 情報の送り手としての工夫・配慮を知る

(メ) = 他のメディアを活用する

I. ネットいじめの特性を知る(15分)

○「いじめ」と「ネットいじめ」の違いは？

ネットいじめの特性について、ワークシートに記入し、確認する。

- (メ)** ネットを利用しないいじめとの比較によって、ネットいじめの特性を理解する。

ビデオ: 春野家ケータイ物語
14分31秒

WS: ネットいじめの特性

II. 卑怯な書き込みをする人の背景を考える(10分)

○ どうしてネットにこんな書き込みをしてしまうんだろう？

書き込みする側に立って考え、心理状態や背景がワークシートへ書けるようにする。

- (送)** 出来るだけ多くの原因を考える。同時にそのような気持ちになっても、卑怯な行為に及んではいけないことに気付く。

WS: 心理状態や背景

III. ネットいじめに遭遇したときの行動を考える(15分)

○ 実際に遭遇したらどうしますか？

対象者が自分の場合、友人の場合など、場面を想定して考え、記入する。

- (受)** トラブルへの対応として、まずは信頼できる大人へ相談することを知る。
- (受)** 対象が自分でなかった場合でも、やってはいけないこと、またはやるべきことがあることに気付き、それを行うように心がける。

WS: ①遭遇したときの
行動
②対処

IV. 情報社会との適切な関わり方をまとめる(10分)

○ ネット上のトラブルをなくすためにはどうすればよいですか？

ネットワークと日常生活は切り離せないものであり、どちらにおいてもトラブルがおきる可能性を秘めている。しかし、ネットの特性をよく理解し、出来るだけ回避するために必要な配慮についてまとめる。

- (送)** ネット上でトラブルに発展しないための配慮を常に意識しながら情報発信するように心がける。
- (送)(受)** 日頃から周囲とのコミュニケーションをしっかりとれるように心がけておく大切さに気付く。

WS: 利用者が心がける
こと

ネットいじめに遭遇したとき、あなたならどうしますか？

誰かを誹謗・中傷するような内容が書き込まれているサイトに遭遇したとき、あなたならどうしますか？また、それがあなた自身のことだったらどうしますか？ビデオを見て、いつ自分に降りかかるかわからない、身近な問題として、じっくりと考えてみてください。

- 1 ネットいじめの特性について説明した、次の文中のかっこにあてはまる文章はどれでしょうか。

授業中に悪口を書いた紙片をまわし読みする行為は、()。教室の黒板に悪口を書いて放置したりする行為は、()。これらの行為は、帰宅すると直接的な打撃はなくなる。

ところが、検索や閲覧が可能なネット上の誹謗・中傷は、()。また、書かれた本人も、()。したがって、精神的にどんどん追いつめられることになる。

- A いつでもどこでもアクセスできるため、24時間どこにいても、気が休まらない。
- B 本人の目にふれないことが多いし、見る人が授業のクラスに限定されている
- C いつでも誰でもアクセスでき、何人が見ているかわからない。
- D すぐに消すことができるし、見る人は校内の者と、比較的少ない

- 2 誹謗・中傷する人の心理状態や背景を想像してみてください。

--

- 3-① ネットいじめに遭遇したとき、どのように行動すればよいか、考えましょう。

--

- 3-② 迷惑メールへの対処として最善なのは、「無視すること」だといわれていますが、あなたの友人がひきょうな書き込み等で苦しんでいる場合、あなたが最善だと思う対処は何ですか。

--

- 4 ネット上のトラブルをなくすために、利用者が心がけることは何でしょうか。

--

ネットいじめに遭遇したとき、あなたならどうしますか？

誰かを誹謗・中傷するような内容が書き込まれているサイトに遭遇したとき、あなたならどうしますか？また、それがあなた自身のことだったらどうしますか？ビデオを見て、いつ自分に降りかかるかわからない、身近な問題として、じっくりと考えてみてください。

1 ネットいじめの特性について説明した、次の文中のかっこにあてはまる文章はどれでしょうか。

授業中に悪口を書いた紙片をまわし読みする行為は、(B)。教室の黒板に悪口を書いて放置したりする行為は、(D)。これらの行為は、帰宅すると直接的な打撃は無くなる。

ところが、検索や閲覧が可能なネット上の誹謗・中傷は、(C)。また、書かれた本人も、(A)。したがって、精神的にどんどん追いつめられることになる。

- A いつでもどこでもアクセスできるため、24時間どこにいても、気が休まらない。
- B 本人の目にふれないことが多いし、見る人が授業のクラスに限定されている
- C いつでも誰でもアクセスでき、何人が見ているかわからない。
- D すぐに消すことができるし、見る人は校内の者と、比較的少ない

2 誹謗・中傷する人の心理状態や背景を想像してみてください。

- 日常生活の中で不満や不安、怒りなどのストレスがうまく発散できていない。
- 学校・家庭・地域など、すべての生活場所のいずれにも安住できていない。
- (本当は匿名ではないが、)見かけの匿名性が攻撃性を増している。
- 面白半分の話題として、真偽にかかわらずネタを提供してしまう。 など

3-① ネットいじめに遭遇したとき、どのように行動すればよいか、考えましょう。

- すぐに保護者や先生などに相談する。(対象が自分でなくても)
→画面を印刷して証拠を残したり、運営者に削除依頼をしてもらったり、警察に相談する(自分が対象)。
- (ネット上に限定されていて)実生活に影響がほとんどないものについては、できるだけ無視する。
(自分が対象) など

3-② 迷惑メールへの対処として最善なのは、「無視すること」だといわれていますが、あなたの友人がひきょうな書き込み等で苦しんでいる場合、あなたが最善だと思う対処は何ですか。

- 軽い気持ちや面白半分に書き込みをしない。
- 日常生活の中で、声をかけてあげ、相談にのってあげる。
- (炎上しないように注意しながら)ネット上で誹謗・中傷を許さない態度を示す。

など

4 ネット上のトラブルをなくすために、利用者が心がけることは何でしょうか。

- 利用する際のルールやマナーをよく理解し、遵守する。
- 時間割変更や試験範囲、部活の予定など、本当に有益な情報だけを共有できる掲示板にする。
- 自分のホームページに知人(実名でなくても)の誹謗中傷を載せない。
- トラブルに発展しないためよう、情報を発信する際には、常に相手の気持ちになって情報発信を行う。
- 日常生活の中でしっかりとコミュニケーションをとり、良好な人間関係を保つ。 など

「ネットいじめ，あなたなら？」

内 容	見ることが可能な人	期 間
紙片をまわし読み	授業を受けている人	授業中
黒板の悪口を放置	校内にいる人	消すと終わり
ネット上の書き込み	ネットに接続可能な すべての人	削除するまで コピーされると 完全には無理

→精神的なダメージが大きい

→発見したらすぐに大人に相談する

※普段からしっかりとコミュニケーション！

